

2021年度 第2四半期決算説明資料

2021年度第2四半期決算概要及び2021年度通期見通し

2021年11月29日
シンフォニアテクノロジー株式会社
(証券コード6507)

目次

- 2021年度上期決算概要 P.3
- 2021年度通期見通し P.8
- 次期中期計画について P.13
- 配当について P.19

2021年度上期決算概要

2021年度上期連結決算

(単位：億円)

	20年度 上期実績	21年度 上期実績	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	405.2	513.3	108.1	26.7%
売上高	398.0	399.9	1.9	0.5%
営業利益	15.7	16.2	0.5	3.0%
経常利益	14.6	16.7	2.1	14.6%
当期利益(※)	12.6	11.1	△1.5	△11.8%

(※)親会社株主に帰属する当期純利益

- ◆半導体製造装置向け機器、及びFA機器向け製品の需要増により、受注は増加した。
- ◆当期利益の減益は、前年同期に特別利益に投資有価証券売却益を計上していたことによる。

セグメント別業績総括(モーション機器)

(単位：億円)

	20年度 上期実績	21年度 上期実績	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	142.6	176.0	33.4	23.4%
売上高	139.4	142.1	2.7	2.0%
営業利益	1.8	4.2	2.4	134.2%

- ◆FA機器の需要が回復したことから電磁クラッチ・ブレーキ等が増加し、受注高・売上高ともに前年同期を上回った。
- ◆営業利益については、航空宇宙の新規案件の費用増が収束したこと等により、前年度を上回った。

セグメント別業績総括(パワーエレクトロニクス機器)

(単位：億円)

	20年度 上期実績	21年度 上期実績	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	162.9	237.4	74.5	45.8%
売上高	175.0	179.6	4.6	2.6%
営業利益	11.0	7.7	△3.2	△29.5%

- ◆受注高、売上高とも、クリーン搬送機器、振動機器で増加し、前年同期を上回った。
- ◆営業利益については、売上の増加影響はあったものの、社会インフラシステムの工事費の増加等により、前年同期を下回った。

セグメント別業績総括(サポート&エンジニアリング)

(単位：億円)

	20年度 上期実績	21年度 上期実績	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	99.7	99.9	0.2	0.2%
売上高	83.6	78.2	△5.4	△6.5%
営業利益	2.9	4.5	1.6	57.1%

- ◆受注高は、ほぼ前年同期並みとなった。
- ◆売上高は、前年に比して大口の案件が減少したため、前年同期を下回った。
- ◆営業利益は、減収影響はあったものの、工事の採算改善等により、前年同期を上回った。

2021年度通期見通し

2021年度連結通期見通し

(単位：億円)

	20年度 実績	21年度 予想	対前年比		(参考)対前回予想比	
			増減額	増減率	当初予想	増減率
受注高	842.1	1,000.0	157.9	18.8%	930.0	7.5%
売上高	873.1	940.0	66.9	7.7%	870.0	8.0%
営業利益	48.9	59.0	10.1	20.6%	35.0	68.6%
経常利益	48.1	58.0	9.9	20.6%	34.0	70.6%
当期利益 (※)	36.8	40.0	3.2	8.8%	24.0	66.7%

(※)親会社株主に帰属する当期純利益

- ◆受注高は、半導体関連、FA機器の需要増が継続し、前年度を上回る見通し。
- ◆売上高は、受注の増加により、前年度を上回る見通し。
- ◆損益は、増収により、前年度比で増益。
- ◆前回予想に対しては、好調な受注により、増収増益の見通し。

セグメント別業績見通し(モーション機器)

(単位：億円)

	20年度 実績	21年度 予想	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	313.5	346.0	32.5	10.4%
売上高	302.8	324.0	21.2	7.0%
営業利益	8.7	10.0	1.3	14.9%

- ◆ 受注高は、FA機器関連の活発な需要により、モーションコントロール機器が増加、前年度を上回る予想。
- ◆ 売上高は、受注の増加により、前年度を上回る予想。
- ◆ 営業利益については、販売費用等が増加するものの、増収により前年度を上回る予想。

セグメント別業績見通し(パワーエレクトロニクス機器)

(単位：億円)

	20年度 実績	21年度 予想	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	349.2	478.0	128.8	36.9%
売上高	379.1	443.0	63.9	16.9%
営業利益	22.9	36.0	13.1	57.2%

- ◆受注高は、半導体関連の強い設備投資需要により、クリーン搬送機器や、電子部品業界からの需要が旺盛な、振動機器が増加、前年度を上回る予想。
- ◆売上高は、受注増により、前年度を上回る予想。
- ◆営業利益については、販売費用等が増加するものの、増収影響により、前年度を上回る予想。

セグメント別業績見通し(サポート&エンジニアリング)

(単位：億円)

	20年度 実績	21年度 予想	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	179.4	176.0	△3.4	△1.9%
売上高	191.2	173.0	△18.2	△9.5%
営業利益	16.9	14.0	△2.9	△17.2%

- ◆受注高は、前年度に比して大口の案件が減少したため、前年度を下回る予想。
- ◆売上高は、期初の受注残高の減少と、受注の反動減の影響もあり、前年度を下回る予想。
- ◆営業利益は、売上減により、前年度を下回る予想。

次期中期計画について

次期中期計画-方向性

SDGs

企業環境ステートメント

ECOing™

エコで行こう! エコへ移行!

脱炭素

2030年ビジョンの方向性

- インテリジェンスシステム
- 省エネ・自動化
- 人財の価値創出

次期中期のポイント

- ✓ 半導体・FA分野でのシステム化
- ✓ 生産活動・製品の脱炭素への取組
- ✓ 新事業、新製品開発
- ✓ 積極的な自動化投資による効率化

次期中期計画-新事業・再生医療分野への進出

CellQualia™

- コロナ影響で遅れていた英国パートナーでの評価開始
- 21年10月より本格的な営業活動開始
- 22年3月神戸医療イノベーションセンタ内
“ソリューションラボ”稼働



神戸医療イノベーション
センタ

自動細胞培養装置

開発中

ICP System –Intelligent Cell Processing System–



NEW



手技から自動化へ
そして更なる高品質を目指して

QbD
アプローチ

無菌的
培養環境

自動化
省力化

低コスト

安定製造

多層
培養容器

CSV
システム

リアルタイム
モニタリング
PAT

次期中期計画-新事業・次世代搬送分野への取組

次世代搬送システム/ロボット分野

- 搬送技術 + モーション技術
+ デジタル技術でシステムを構築
 - 物流の様々な課題解決を目指す
企業間共創プログラムに参画
 - 各分野に向けてアプリケーションを
水平展開

半導体製造装置分野

- 半導体製造装置分野へのメニュー拡大
 - 半導体製造装置向け
新用途搬送機器開発
 - 真空関連機器の探索・開発



次期中期計画-半導体向搬送機器の生産力増強

クリーン搬送機器

中国生産
検討中

シンフォニアテクノロジー(アメリカ)
サービス体制強化

22年1月タイ
生産エリア改修

21年7月三重県
ロードポート生産開始

21年12月愛知県
生産エリア改修

愛知県
工場拡張計画

次期中期計画-脱炭素=ECOingの更なる強化



再生可能エネルギー発電システム



太陽光発電設備
25kW×16



自家発電設備
90kW×12



小形風力発電設備
1.5kW×20



マイクロ水力発電設備
1.5kW×12



電力受配盤
25kW×16



電力の用途

- コピー機
- 空調
- 照明
- コンセント
- 給水ポンプ
- LED照明 (節減活用)



航空機電動化



水素輸送(サブマージドモータ)

配当について

配当について

- 配当については継続的かつ安定的に実施していくことを基本としつつ、株主の皆様のご利益と、企業体質の強化、及び今後の事業展開のための設備投資・開発投資に備え、先行きの収益状況を勘案して利益配分を決定。
- 2022年3月期の期末配当については、1株当たり35円とする予定。

	17年 3月期	18年 3月期	19年 3月期	20年 3月期	21年 3月期	22年 3月期
1株当 配当金 (円)	7	7	40 ※1	30	35	35
1株当たり当 期純利益 (円)	26.75	35.35	155.89	56.94	124.51	139.43

※1：18年10月1日、株式併合（5株を1株に併合）実施

参考資料

(参考)研究開発費・設備投資・減価償却費

(単位：億円)

	実績				予想
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
研究開発費	21	26	31	27	38
設備投資	40	36	36	19	37
減価償却費	21	22	30	32	32

(参考)会社概要①

創業 : 1917年5月 (大正6年)
 設立 : 1949年8月 (昭和24年)
 資本金 : 101億5,696万円 (2021年9月末)
 従業員 : 連結 3,728名 単体 1,960名



(参考)会社概要②セグメント情報(2020年度実績)

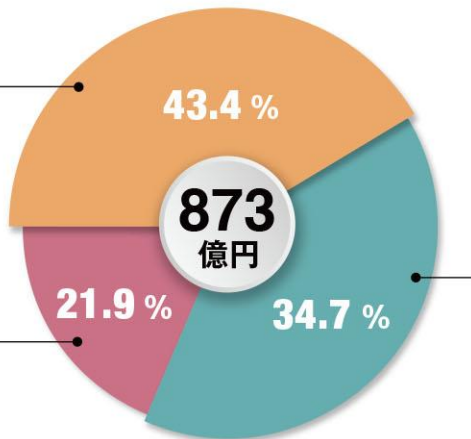
パワーエレクトロニクス機器

- リフティングマグネット「リフマグ®」
- サブマージドモータ
- 超高真空溶解炉
- 自動車用評価システム
- 実車衝突実験システム
- 上下水中央監視システム
- 上下水道電気設備
- 道路管理用電気設備
- 振動搬送機器
- パーツフィーダ
- ミニエンバイロメントシステム
- ロードポート



モーション機器

- 高速昇華型デジタルフォトプリンタ
- カード/IDプリンタ
- 空港用地上支援車両
- 超重量物搬送用大型自走台車
- 宇宙ロケット用電装品
- 航空機用電装品
- 鉄道・建設機械車両用電装品
- ダイレクトドライブモータ
- 化合維用高速モータ
- 電磁クラッチ/ブレーキ



サポート&エンジニアリング

- 電気工事・エンジニアリング
- ソフトウェア開発
- 病院内高速搬送システム



本資料中の見通し及び事業計画については、現時点における将来環境予測等の仮定に基づいております。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

シンフォニアテクノロジー株式会社 TEL : 03-5473-1805
経営企画部 FAX : 03-5473-1841



響いてこそ技術

SINFONIA